

平成27年度 小学校教職員を対象とする環境教育研修会 実施報告

「やってみよう！環境学習プログラム」第4回「水」調査隊 実施報告(テーマ：水)

□実施日時 平成27年8月19日(水) 10時00分～16時15分

□受講者数 13名

□実施場所 八王子市夕焼け小焼けの里

□実施内容

【午前】

1. 事務連絡・開講挨拶等

- ・事務局(研究所)から受講上の注意、全体スケジュール等の説明
- ・環境局環境政策課から開講挨拶等

2. ゲストティーチャーからの講義及び実習

(ゲストティーチャー：東京都環境科学研究所 調査研究科

主任 和波一夫、橋本旬也 研究員 石井裕一)

(1) 「浅川の水生生物の調査」

- ① 受講生は、事務局が用意した胴長靴を着用



- ② 講師の説明を受けた後、浅川に入り、水生生物を採取





③ 現場での説明、質疑応答



【午後】

④ 採取した水生生物の同定、生息環境等の説明





### 3. 環境学習プログラム「“水” 調査隊」の紹介及び実習

(講師：特定非営利活動法人 環境学習研究会理事長 谷村春樹)

#### (1) “水” 調査隊 プログラム紹介

##### ① 「水の汚れ★へらし隊①パックテスト

ト編」概要説明とパックテスト体験

- ・水道水、ソースを垂らした皿を洗った水、ソースをふき取った皿を洗った水、浅川の水の4種類の水について、パックテストを実施。
- ・CODの数値の高さ（汚れ度合い）について、見た目や印象（人間にとってのきれい、汚い）と実際に測定した数値結果が異なることを体感した。



講義風景

- ・小学生がパックテストを行うときのポイントや注意点を体験



ペーパーでぬぐって汚れていないように見えても汚れ度合いの高さに愕然

## ②「水の汚れ★へらし隊②廃油石けん作り編」概要説明

水を汚さない方法の一つである「廃油石けん作り」の概要説明と指導ポイントを学んだ。

### (2)「環境学習の意義」について

- ・昔は、家庭生活や子供同士の遊び、地域との関わりを通じて、実体験として様々なことを学び、知識(理性)と体験(感性)のバランスが自然と取れていたが、今はそれが難しくなっている。このため、学校で、体験に基づき子供の感性を養う面についても、授業等を通じて行う必要が生じてきた。
- ・環境学習は、こうした流れの中で、子供たちが自然や環境の大切さを、体験を通じて理解し、環境を汚す原因は遠く離れたどこかの問題ではなく、自分たちの生活と密接に関連していること、それを防ぐためにはどうしたらよいのかなどについて、主体的に考え、気づく場(機会)となるものである。
- ・教科学習を土台として、知識と体験の相互作用を図れるように、環境学習を実施することが大切。

### (3) まとめ(質疑応答及び受講者同士の情報交換)

この日の研修を通じ、気づいたこと、感じたこと、授業での取上げ方等について、受講者が一人ずつ発表し、講師がコメントをして、受講者間で情報を共有化した。

主な発表

- ・実際に川で、生き物を観察できたことは非常に参考に、また楽しかった。生徒にもこの楽しさを味合わせたい。
- ・キャンプなどで使用後の食器をペーパーでぬぐわせているが、パックテストをそこに取り入れたい。



まとめ発表・情報交換

## 4. 事務連絡、アンケート記入等(事務局)

アンケート提出後解散